

日本気象学会関西支部 第28期第7回常任理事会議事録

日時：2009年10月16日（金） 15時00分～16時20分

場所：大阪合同庁舎第4号館 大阪管区気象台

出席者：瀬上、塩谷、向川、大澤、藤井、松本、諸岡（常任理事）、高橋、楠田（幹事）、里田（全国理事）

議事

1 第31回夏季大学 「集中豪雨とメソ気象」

8月29日（土）にキャンパスプラザ京都で開催し、87名参加者があった。近年の参加者は50～60名で推移していたが、今回は増えた。昨年まで夏季大学を平日2日間の開催としてきたが、今年は週末の1日開催としたためと考えられる。

アンケートでも講義数や講義時間を適当だと回答した参加者が8割を越えており、来年度の夏季大学も週末の1日開催が適当との結論となった。

今回、久しぶりに実施した天気図実習に関しては、分かりやすさ・難易度ともに適当であると回答した参加者が多かった。理事からは、「各自が天気図を書き上げるには時間が足りない感じがあった。来年は天気図を見て天気予報を行うグループ実習を行ってはどうか」との提案があった。

2 第3回サイエンスカフェ 「お天気キャスターの目から見た野球～甲子園球場の気象特性～」

9月5日（土）に大阪心齋橋英国屋で開催し、24名が参加した。野球と気象を絡めた講師の話に参加者の満足度は高かったことが、アンケート結果に現れていた。次の開催時期やテーマについて意見交換を行った。

3 2009年度例会

以下のとおり四国地区、中国地区例会を開催し、発表の申込を募集中である。近畿地区例会は海洋気象学会担当者と早めに調整し、詳細を固める予定。

○2009年度第1回例会（四国地区）

開催日：2009年12月11日（金）

会場：香川大学

特別講演：小司禎教（気象研究所予報研究部第2研究室）

題目：GPSを用いた大雨の予測

○2009年度第2回例会（中国地区）

開催日：2009年12月19日（土）

会場：岡山大学教育学部

特別講演：佐藤尚毅（東京学芸大学・自然科学系・宇宙地球科学分野）

題目：日本の盛夏期の天候に関連する気圧偏差パターンの形成過程

○2009年度第3回例会（近畿地区）今年度は海洋気象学会の主担当

4 2010年度秋季大会

開催日：2010年10月27日（水）～29日（金）（26日に前日準備）

場所：京都テルサ

大会までのスケジュールを確認するとともに、来年に発足予定の実行委員会の分担を検討した。まず、今年末までに、会場となる京都テルサの本契約を行い、シンポジウムのテーマを決定するように、役員の中で担当を確認した。

5 本部奨励賞受賞者候補者の推薦（里田全国理事より）

関西支部から推薦した飯澤功（京都市立堀川高等学校）氏の「みんなの地球科学」プロジェクトを通じた気象学の普及活動に対して、2009年度奨励賞を受賞することが前回の本部理事会で決まった。2010年度の本部奨励賞の候補者についても、支部として積極的に推薦することを確認した。

6 関西支部発行冊子の独立行政法人科学技術振興機構へのデータベース登録について

独立行政法人科学技術振興機構のデータベースに掲載するためサンプルとして、関西支部が発行する年会要旨集・例会要旨集・夏季大学テキストを昨年度送付した。同機構から正式にデータベース掲載要請があったことから、今後も継続的に関西支部発行冊子を送付することとした。